

氏名	加藤千恵子 (カトウ チエコ)
所属	名寄市立大学保健福祉学部看護学科, 市立名寄短期大学看護学科 (兼任)
職名	講師
研究室連絡先	電話 01654-2-4199 (ダイヤルイン 3120) FAX 01654-3-3354 (事務局) E-mail chiekok@nayoro.ac.jp
ホームページ URL	なし
学歴	昭和 57 年 3 月 北海道立紋別高等看護学院卒業 昭和 58 年 3 月 北海道立衛生学院助産婦科卒業 平成 13 年 3 月 放送大学 教養学部 発達と教育専攻 卒業 平成 13 年 4 月 放送大学 大学院 教育開発 科目, 専科履修生 現在継続在学中 平成 17 年 9 月 放送大学 教養学部 生活と福祉専攻 卒業 平成 15 年 4 月～平成 17 年 3 月 千葉大学委託研究生 (看護学部) 修了, テーマ:「妊婦の母子健康手帳の使用状況と世代間活用に対する意識に対する意識調査」 平成 20 年 5 月 公立ラ・トローブ大学健康科学学部看護・助産学科大学院看護学修士課程修了
職歴	昭和 58 年 4 月～平成 9 年 7 月 名寄市立総合病院 産婦人科小児科病棟勤務 平成 9 年 8 月～平成 10 年 6 月 同上 産婦人科外来勤務 平成 10 年 7 月～平成 12 年 3 月 同上 産婦人科小児科病棟勤務 平成 12 年 4 月～現在 市立名寄短期大学 講師 (母性看護学) 平成 18 年 4 月～現在 名寄市立大学保健福祉学部看護学科 講師
学位	看護学修士
免許・資格	昭和 57 年 5 月 17 日 看護婦免許取得 (第 450803 号) 昭和 58 年 5 月 10 日 助産婦免許取得 (第 82619 号) 昭和 58 年 4 月 受胎調節実地指導員 平成 6 年 8 月 12 日 実習指導者研修(厚生省 6 週間)修了 平成 14 年 9 月 20 日 看護学教育指導者研修 (6 ヶ月) 修了 平成 14 年 11 月 12 日 看護管理者 (ファーストレベル) 認定 平成 21 年 1 月 思春期保健相談士取得 (第 7784 号) 平成 21 年 12 月 新生児蘇生法「一次」コース修了
研究分野	母性看護に関すること。特に「性教育」, 「母子健康教育」, 「タッチケア」
現在の研究課題	「高校生の性意識調査」, 「母子健康教育: 母親からみた沐浴の教材作成」, 「タッチケアの効果」
主な担当科目	母性看護活動論 I・II (演習), フィールドグループワーク, 母性看護学実習
研究・教育業績	(1) 母子の健康管理に関する研究 ・「初産婦と経産婦における母乳栄養の確立に関連する要因についての検討」(共著) 日本看護協会, 第 34 回日本看護学会論文集 2003 年 ・「妊婦の『生き方尺度』を用いた対象把握」(共著) 市立名寄短期大学, 市立名寄短期大学紀要第 37 巻 2005 年 ・「4 カ月健診を経過した育児期の母子健康手帳の活用状況と世代間活用」(単著) 第 38 回日本看護学会論文集-母性看護-2007, 133-135 2008 年 (2) 地域における健康教育活動に関する研究 ・「夜間お母さん教室の実践報告」(共著) 市立名寄短期大学, 市立名寄短期大学紀要第 34 巻 2002 年 ・「夜間お母さん教室の受講時の父親の精神状態と受講前後の役割変化」(共著) 市立名寄短期大学道北地域研究所, 道北地域研究所年報『地域と住民』第 20 号 2002 年 ・「夜間お母さん教室における妊婦の食事の理解を進めるための試み」(共著) 市立名寄短期大学道北地域研究所, 道北地域研究所年報『地域と住民』第 21 号 2003 年 ・「地域におけるタッチケア学習会の実践報告」(共著) 市立名寄短期大学道北地域研究所, 道北地域研究所年報『地域と住民』第 22 号 2004 年

	<ul style="list-style-type: none"> ・「高校3年生の性に関する知識と行動」(共著) 第38回 日本看護学会論文集—母性看護—2007, 56-58 2008年 ・「高校1年生の性知識と性意識の変化から見るピア・エデュケーションの効果」(共著) 第40回日本看護学会論文集 母性看護、135-137 (2010. 1) ・「小学第5学年の自己概念とジェンダー・アイデンティティに関連した実態調査—「命の授業」前後の比較から—」(共著) 名寄市立大学紀要 Vol.4 17-25 (2010. 3) ・「ピアカウンセリング授業に関わった大学生の「8つの誓約」の評価」(共著) 名寄市立大学道北地域研究所, 道北地域研究所年報『地域と住民』第28号 15-26 (2010. 3) <p>(3) 母性看護に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「母性外来実習における学生の学びとその構造」北海道・東北地区看護研究学会, 平成15年度北海道・東北地区看護研究学会集録集2003年 ・「夜勤帯における分娩時看護および分娩以外の看護業務の重複」(共著) 日本看護協会, 第34回日本看護学会論文集2003年 ・「看護職の産前産後休暇・育児休業後の配置転換の実態とストレスに関する調査研究」(共著) 第35回日本看護学会—看護総合—, 論文集2004年 ・「看護職の産前産後休暇・育児休業後の配置転換の実態とストレス」(共著) 第35回日本看護学会論文集—看護管理—, 論文集2005年
<p>学会活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 日本看護協会会員 (昭和58年4月～現在) (2) 日本母性衛生学会会員 (昭和58年4月～平成3年4月, 平成12年4月～現在) (3) 日本看護研究学会会員 (平成12年4月～現在) (4) 日本助産師会会員 (昭和58年4月～現在)・PALの会会員 (平成12年4月～現在) (5) 日本タッチケア研究会会員 (平成13年4月～現在) (6) 北海道母性衛生学会会員 (平成13年4月～現在) (7) 日本助産学会会員 (平成13年5月～現在) (8) 北日本看護学会会員 (平成15年5月～現在) (9) 北海道子どもの虐待防止協会道北支部会員 (平成16年6月～現在) (10) 北海道公衆衛生学会員 (平成17年～現在) <ul style="list-style-type: none"> ・北海道公衆衛生学会評議員 (平成17年12月～現在) (11) 日本公衆衛生学会会員 (平成20年～現在) (12) 北海道成育看護研究会 (平成19年～現在)
<p>社会活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの未来を守る会企画「夜間お母さん教室」4回/年 (平成12年4月～現在) ・「人間と性」教育研究協議会上川サークル員 (平成13年4月～現在) ・子どもの未来を守る会「下川町両親教室」3回/年 (平成14年10月～現在) ・名寄タッチケア研究会企画「タッチケア学習会」10回/年 (平成14年12月～現在) ・上川北部地域保健医療福祉推進協議会委員 (平成15年5月～17年4月まで) ・基本介護技術, 上川北部地域人材開発センター機動職業訓練(OA介護科)講師「介護者の健康管理:腰痛の予防」担当 (平成15年10月～現在) ・子育て親育ての会企画 (平成18年9月～現在), ・雄武町母乳相談, タッチケア学習会 (平成18年～現在) ・思春期指導員活動:「性・いのち」日本助産師会依頼による講演活動 旭川商業高校, 幌加内高校, 中頓別高校, 北海道留辺蘂高等学校 (平成18年～現在) ・ピア・エデュケーション活動:留萌高校, 産業高校 (平成19年～現在)
<p>受賞</p>	<p>平成10年11月 名寄市職員15年表彰</p>
<p>コメント</p>	<p>私は、17年間施設助産師として、臨床で「赤ちゃんの誕生」と「お母さんの健康管理」を担当し、40歳で念願の看護教員へと転職しました。現在は自分が学んだことを具体的な知識と技術となるように伝えていきたいと考えています。学生は将来、父母となる対象です。各の母性父性が目覚め職業意識に芽生えた時、当事者意識をもった学習となり、より活発な疑問や探求心が生まれます。また、人は様々な複顔性を持つことで人間的にも深みや味がでてきます。母性分野の中で特に「母子の健康教育」、「性教育といのち」、「タッチケア」の活動を通して、一緒に学んでいきませんか？</p>